

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス わおん トア教室			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 16日	～	令和8年 2月 15日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	35
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 16日	～	令和8年 2月 15日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員や療育経験がある職員を配置し、児童一人ひとりの特性やニーズに応じた、きめ細やかな支援を実施することが出来ている。また職員間での情報共有や相談を日常的に行い、支援内容の統一や連携を図っている。	専門的な支援体制を整え、保護者様および児童の思いや状況を丁寧に把握し、それを踏まえた目標設定を行っております。日々の様子を細かく記録し支援の継続性を確保しています。また、専門的支援実施計画書を作成し、専門的視点を取り入れながら支援の質の向上に努めております。	定期的なモニタリングやケース会議を通じて支援内容の見直しを行い、継続的な改善に努めております。また、学校や関係機関と連携し、チームとして児童を支える体制の充実を図っていけるよう努めます。職員研修の充実や、保護者様との定期的な情報共有を大切に、質の高い支援の提供を目指します。
2	子どもが主体的に活動へ取り組めるよう、遊びを軸に幅広い分野の成長を促す多様なプログラムを提供している。	児童の関心や得意なこと、好きなことを活かしながら自立に向けた成長を促す活動内容を取り入れています。児童が主体的にさまざまな活動に参加できるようにしています。また、5領域の視点に基づき、職員間で協議のうえ活動内容を検討し、外出活動においては利用者の希望を踏まえながら事前に調査・検討を行い、安全面に十分配慮したうえで実施しております。	子どもたちの主体性を尊重しながら、活動内容や支援方法の検討・立案を継続していきます。支援のさらなる充実を図るため、児童一人ひとりの発達状況や行動特性に関するアセスメント力の精度向上に努め、その結果を多様なプログラムへ反映していきます。
3	学習活動や余暇時間、各種プログラムの内容およびそのねらい、達成できている点や今後の課題について、保護者様へ具体的かつ丁寧にご報告することが出来ている。	支援報告をLINEでお伝えする際、文章だけでなく写真や動画を添えることで、事業所での様子がより具体的に伝わるよう工夫しております。送迎時には当日の活動内容やご本人様の様子を口頭でお伝えし、保護者様との情報共有を大切にしています。日々の連携を通じて、共通理解のもとで一貫した支援につながるよう取り組んでいます。	保護者様との連携を充実させるため、日々の報告を双方向の情報共有の機会とし、ご家庭の様子も踏まえた支援につなげてまいります。また、定期的な振り返りや面談を通して活動のねらいや意図をお伝えすることを通じ、家庭と事業所が一体となった支援体制の強化に努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様の対応力向上を目的とした電話やLINEでの個別相談・支援は実施することができているが、きょうだい児への支援や、集団形式でのペアレント・トレーニングや研修会・学習会の開催について実施に至っていない。	土曜日や祝日もサービス提供を行っていることから、事業所の運営スケジュールとの調整が難しく、日程確保の面でペアレント・トレーニング等の活動を設定しにくい状況があります。	年間スケジュールを早期に把握し、計画的な日程調整を行うとともに、きょうだい児も一緒に参加できる活動や、保護者様が参加しやすい活動内容の検討を行い、ペアレント・トレーニングの開催に向けた体制整備を進めていきます。また、外部研修や内部研修を通して職員の専門性の向上を図るとともに、オンライン開催等も含めた柔軟な実施方法について検討していきます。
2	保護者会や参観日等の開催、父母の会活動の支援など、保護者様同士の交流や連携を促進する取組について実施できていない。	現状の支援体制に対して一定の満足の声も聞かれています。保護者様それぞれのニーズやご意向を十分に把握しきれていない可能性があり、実施方法や内容の検討が十分に進められていない状況があります。	保護者様同士の交流の場の設定については現時点では実施できていないため、今後は保護者様のニーズやご意向を丁寧に把握しながら、参加しやすい形式や開催方法について検討を進めていきます。
3	外部施設との交流活動や、地域住民とのつながりの機会が少ない現状にある。	公園清掃ボランティアの実施や地域イベントへの参加、公園等で地域の児童と関わる機会がありますが、放課後児童クラブや児童館との継続的な交流、地域の方を招いた活動の機会は十分に確保できません。また、地域で開催される会議や研修への参加についても、日々の支援業務との調整が難しく、計画的な参加が難しい状況があります。	ご利用者や保護者様のご希望も踏まえながら、児童クラブや児童館との交流の機会や、地域の方を招いた活動の実施について検討していきます。また、地域の会議や研修への参加については、年間予定を早期に把握し、計画的にスケジュール調整を行うとともに、職員間で役割分担を行うなど、運営に支障のない体制づくりを進めていきます。